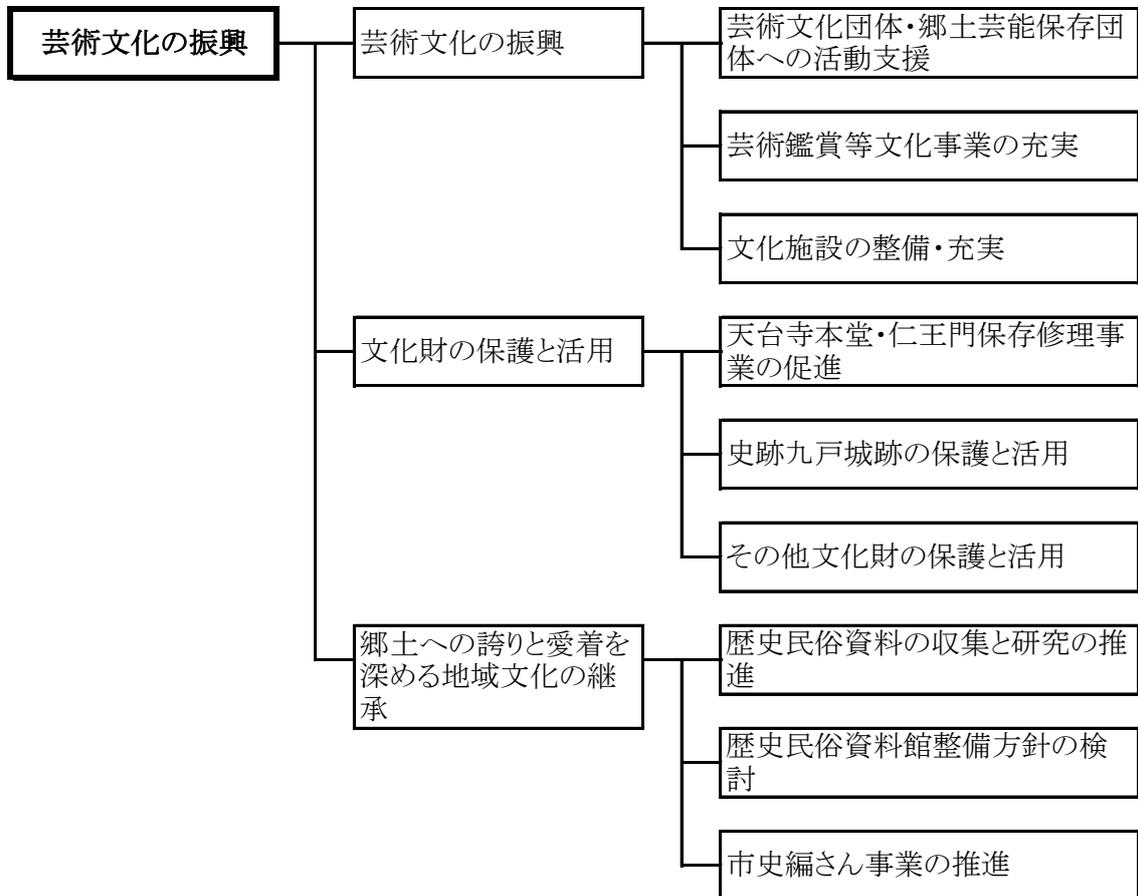


4 芸術文化の振興

■体系



(1) 芸術文化の振興

① 芸術文化団体・郷土芸能保存団体への活動支援

【現状と課題】

二戸市内の芸能文化活動は、二戸市芸術文化協会に加盟する団体を中心に美術や郷土芸能など広く展開されていますが、会員の高齢化や会員数の減少により活動継続が困難なため、休止・解散する団体もあり、団体数は減少傾向にあります。

新規に若者の参画を促しつつ、既存団体の活動の活性化と創作活動の広がりを図るためには、芸術文化団体の組織強化と市民が自主的・主体的に活動に参加し、その成果を発表できる環境づくりが大切です。

また、小中学生を対象とした芸術鑑賞や、各種団体による講演会・芸能発

表会が行われるなど、市民が芸術文化に親しむ機会が増えています。若い世代の独創性や創造性を育むためには、幼少期から優れた芸術文化にふれる機会が大切です。

一方、民俗芸能は、それを担う保存団体会員の高齢化による後継者不足により、活動に支障が出ている団体もあることから後継者の確保及び保存団体の育成強化が求められています。

【今後の方針と取組】

地域の特性を生かした個性的な地域文化を創造するため、市民の自主的な文化活動の支援に努めます。

また、芸術文化の技術的な向上と継承活動を推進するため、芸術文化団体への活動支援を行うとともに、活動発表の場の提供にも努めます。

【主な事業】

- ・ 芸術文化団体の育成
- ・ 文化祭の実施
- ・ 郷土芸能保存団体の育成
- ・ 二戸市郷土芸能祭の開催支援

●数値目標

評価指標	現 状	数値目標	
	平成 26 年度	28 年度	32 年度
文化祭の入場者数（人）	4,439	5,000	5,500
郷土芸能祭の入場者数（人）	400	450	500



二戸市郷土芸能発表会

② 芸術鑑賞等文化事業の充実

【現状と課題】

小中高生や一般を対象とした芸術鑑賞や、芸能発表会が行われるなど、市民の芸術文化に親しむ機会が増えています。

心豊かで潤いと安らぎのある市民生活を創造するためには、優れた芸術を鑑賞する機会の提供に努める必要があります。

また、これからの二戸を支える若い世代の独創性や創造性を育むためには、幼少期から優れた芸術文化にふれ、豊かな情操を養う機会が大切です。

【今後の方針と取組】

市民文化会館や浄法寺文化交流センターによる事業の開催などにより、子どもから大人まで幅広く市民を対象とした芸術を鑑賞する機会の充実に努めます。

【主な事業】

- ・ 芸術鑑賞事業の実施

●数値目標

評価指標	現 状		数値目標	
	平成 26 年度	28 年度	32 年度	
開催事業入場者数（人）	7,793	7,900	8,000	

③ 文化施設の整備・充実

【現状と課題】

郷土への愛着を育み、歴史と風土に培われた価値ある市民文化の創造と伝統的な文化資源の保存伝承を図るためには、魅力ある芸術文化の環境づくりが必要です。

【今後の方針と取組】

市民の創作活動の奨励と発表機会の充実を図るため、既存の文化施設の維持・管理を進め、優れた芸術文化活動のための条件整備に努めます。

【主な事業】

- ・ 市民文化会館リフレッシュ事業
- ・ 浄法寺文化交流センター改修事業

●数値目標

評価指標	現 状		数値目標	
	平成 26 年度	28 年度	32 年度	
市民文化会館の利用者数（人）	53,914	55,000	55,000	
浄法寺文化交流センターの利用者数（人）	10,052	11,000	11,000	

(2) 文化財の保護と活用

① 天台寺本堂・仁王門保存修理事業の促進

【現状と課題】

国指定重要文化財天台寺本堂及び仁王門は、平成 25 年度から始まった解体工事の結果、想定以上に傷みが進んでいることが判明し、全体計画を見直しています。

今後、本格的な修理作業が始まることから、円滑な事業推進に向けて関係機関との協議、地域住民や保存会の協力を得ながら実施することが求められています。

【今後の方針と取組】

天台寺本堂及び仁王門の円滑かつ確実な修理事業の実施に向けて関係機関との連携や、関係団体等の理解、協力を得ながら事業推進に努めます。

【主な事業】

- ・ 天台寺修復事業

● 数値目標

評価指標	現 状	数値目標	
	平成 26 年度	28 年度	31 年度
保存修理事業進捗率 (%)	15.75	49.5	100



天台寺（国の重要文化財）

② 史跡九戸城跡の保護と活用

【現状と課題】

国指定史跡である九戸城跡は、中世終焉の舞台となった北奥羽に残る織豊系城郭として、二戸市の貴重な文化遺産です。また、近年、県外からも史跡を訪れる来訪者が増えています。

今後も引き続き、史跡指定地内の公有化と環境整備を進め、保護・活用を図ることが求められています。

【今後の方針と取組】

市民、関係団体との連携を推進し、史跡九戸城跡の保護と活用に努めます。

【主な事業】

- ・ 史跡九戸城跡土地買上事業
- ・ 史跡九戸城跡環境整備事業
- ・ 九戸城情報発信・活用事業

● 数値目標

評価指標	現 状	数値目標	
	平成 26 年度	28 年度	32 年度
年間来訪者数（人） （ボランティアガイド案内者数）	2,927	3,500	4,500



九戸城跡の堀（国指定史跡）

③ その他文化財の保護と活用

【現状と課題】

文化財や伝統文化は地域の宝であり、これらを地域文化として、文化財の保護と活用を通じた地域のつながりや、地域づくりと連携しながら地域住民と一体になった文化財保護・保存・活用することが求められています。

【今後の方針と取組】

埋蔵文化財センターでの展示会、講演会、体験学習や発掘調査の実施、現地説明会の開催を通じて、広く市民へ情報発信をすることにより、文化財保護・活用に努めます。また、地域の特色である天台寺や浄法寺漆の歴史や文化を伝承し、交流や地域づくりなどに生かす歴史文化交流施設の整備を進めます。

【主な事業】

- ・ 文化財保護事業
- ・ 埋蔵文化財発掘調査事業
- ・ 埋蔵文化財保存活用事業
- ・ 歴史文化交流施設整備事業

●数値目標

評価指標	現 状	数値目標	
	平成 26 年度	28 年度	32 年度
埋蔵文化財センター入館者数(人)	507	520	550



発掘調査（前小路遺跡）

(3) 郷土への誇りと愛着を深める地域文化の継承

① 歴史民俗資料の収集と研究の推進

【現状と課題】

二戸市には旧二戸地区の先人関連資料や歴史民俗資料を取り扱う二戸歴史民俗資料館と、天台寺と漆関係資料を主体に展示する浄法寺歴史民俗資料館の2館があることから、それぞれの資料館の特色を活かし、先人たちが残した郷土の歴史や資料のさらなる調査・保護・保存・活用に努めています。

地域の文化・歴史・民俗風習を知るうえで、郷土の先人たちが築き、残してきた資料は貴重な宝であり、後世に永く伝えることが求められています。

そのため、二戸・浄法寺両歴史民俗資料館の相互協力と連携の強化が必要です。

【今後の方針と取組】

市民からの協力を得て、新たな民俗資料を広く収集し、研究、活用を図ります。

また、市民に郷土史学習の機会を提供するとともに講座や企画展を開催するなど、多くの人が資料館を活用できるよう努めます。

【主な事業】

- ・ 民俗資料の収集・調査

●数値目標

評価指標	現 状	数値目標	
	平成 26 年度	28 年度	32 年度
講座・企画展の開催（回）	8	8	9
二戸歴史民俗資料館入館者数（人）	1,041	1,100	1,100
浄法寺歴史民俗資料館入館者数（人）	639	700	700



浄法寺歴史民俗資料館

② 歴史民俗資料館整備方針の検討

【現状と課題】

地域の歴史、文化、民俗の各資料の展示保管施設として機能してきた二戸・浄法寺両歴史民俗資料館は、施設の老朽化が進むとともに、収蔵物が飽和状態にあり、今後の運営に支障をきたしています。

そのため、二戸・浄法寺両歴史民俗資料館の環境を整備することが求められています。

【今後の方針と取組】

二戸歴史民俗資料館は、九戸城跡環境整備事業構想と併せて検討します。また、浄法寺歴史民俗資料館は、歴史文化交流施設整備事業と併せて検討します。

【主な事業】

- ・ 歴史民俗資料館の整備の検討

③ 市史編さん事業の推進

【現状と課題】

平成元年4月の市史編さん事業着手以来、これまでに本編3巻、叢書16集、叢書別冊5巻を発刊してきました。市史本編完成後も継続して書籍を発刊している自治体は稀であり、またこれらの書籍は多くの方々に手にしていただき、市内のみならず市外・岩手県内・岩手県外の方々からも貴重な資料として問い合わせがある状況です。

また、未だ手つかずの史料が多数あり、それらの史料の整理・研究は今後でも継続していかなければなりません。

郷土の歴史や先人たちの功績を学ぶとともに、次代を担う子どもたちにもそれを伝え、共に郷土への愛着を深めていくことが大切です。

【今後の方針と取組】

「二戸史料叢書」は、市史本編の素材となった史実や記録が正確に載せられ、情報の出所も明示されたデータベースで、第16集まで発刊しました。これまで収集してきた史料を分析し、現代の言葉に置き換えながら発刊に向けての作業を続けており、次の市史を編さんする際の根拠資料となる史料叢書の発刊に努めます。

【主な事業】

- ・ 史料叢書の継続発刊